

**平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」  
就職支援推進プログラム 申請書（様式）**

設置の形態	私立	※ 国立 公立 私立 のうちいずれかを記入してください。
大学・短期大学・ 高等専門学校名	北里大学	
所在地	〒108-8641	東京都港区白金五丁目9番1号
設置者名	学校法人北里研究所	
学長等の氏名	柴 忠 義	

区 分	取組1	※ 取組1 取組2 のうちいずれかを記入してください。
取組名称（全角30字以内）	学 生 全 員 の 就 職 と 就 職 満 足 度 の 向 上 を 目 指 す 就 職 相 談 体 制 の 強 化	

単独・共同別	単独	※ 単独 共同 のうちいずれかを記入してください。
共同申請の場合の共同先の大学等名		

ふりがな	みなみ かつゆき	所属部署名 及び職名	副学長・就職センター長
取組担当者	陽 捷 行		

取組の概要【400字以内】	※ 半角数字、アルファベットに限り0.5字として計算してください。
<p>経済不況が学生の就職環境に深刻な影響を及ぼしている。内定の得られていない学生が増え、将来への不安が増している。生命科学領域の学問を教育する本学は、入学・学習目的を職業と結びつけた学生が比較的多く、職業への関心の高さは就職活動における強みの一つとなっている。しかし、社会経験の乏しい彼らにとって、就職活動への漠然とした不安や就職先選択、就職面接への戸惑いは少なくなく、個別相談を受ける者が急増している。そこで本学は、学生全員の就職と就職満足度の向上を目指し、就職相談の専門家であるキャリアカウンセラーを増強し、相談体制を強化する。大学地域コンソーシアムや商工会議所、同窓会とも連携する。達成度を把握するために満足度調査を行い、改善点をPDCAサイクルにより解決する。相談員を就職支援体制に位置付け、職業観・勤労観、主体的に職業を選択できる能力、職業人として生涯必要な総合的能力・態度を育成していく。</p>	
(文字数：396字)	

## 1 取組の趣旨・目的・達成目標

- ・取組の趣旨・目的（就職支援態勢の強化のための取組か。）

本学は、学生が確かな職業観・勤労観の下、主体的に職業選択ができるよう、キャリア教育科目、職業指導、面接相談、各種支援講座などの体系的な就職支援体制を構築している（図1）。しかし経済不況下、職業・就職相談、模擬面接など個別相談が急増している。本取組は、全員就職内定達成と就職満足度の向上を目指し、就職相談員の増強による**就職相談体制の強化**を目的とする。

- ・達成目標（明確な達成目標となっているか。）

**アウトプット目標：**内定率100%を目指すとともに、学生相談件数、各種支援講座参加者数を20%増加させる。**アウトカム目標：**就職情報の提供、就職相談の応待、選択した職業・就職先についての満足度調査を行い、調査結果を次年度の取組に反映し、満足度を継続的に向上させる。調査を通して、身に付けた汎用的技能や専門的知識・技能と職業との関わりも測定する。

## 2 取組の具体的内容・実施体制

- ・取組の具体的内容（目的・達成目標に有効な具体的内容となっているか。）

職業指導・就職支援は、1年次生から最終年次生、さらに卒業生も対象としている。本取組では、特に3・4年次生の就職相談体制を充実するため、**就職相談員の配置期間（10月から3月、延3名/週）を通年に拡大し、増加する個別相談に対処する他、セミナー形式の講座を開催し学生の要望に応じていく。**大学地域コンソーシアム、商工会議所等と連携した就職講演会も開催する。

- ・取組の実施体制（具体的な実施体制となっているか。）

支援体制は**全学及び各学部・研究科の重層的体制**の下、年間を通して**教職協働**による支援を行っている（表1）。副学長が就職センター長となり、全学就職委員会と就職センターを主導する。各学部・研究科には各就職委員会と就職係を置ききめ細かい指導を行う。**就職相談員はカウンセリング技法を身に付けた外部専門家を登用、就職センターに所属し相談・助言にあたる。**

### 3 取組の評価体制・評価方法

- ・取組の評価体制（具体的な評価体制となっているか。）

本取組の評価は、全学就職委員会において**達成度をA～Dの4段階で自己評価**する。評定は毎年、全学自己点検・評価委員会で精査される。結果はキャリア形成上関連の深い「教育内容・方法」、「学生生活」等と合わせて学部長会に報告し、伸長点・改善点・改善方策を確認する。さらに「到達目標・改善方策管理表」に組み込み、**P D C Aサイクルによる改善体制を構築**している。

- ・達成目標に対する達成度についての指標（具体的な指標となっているか。）

**アウトプット指標**：①内定率100%、②学生相談件数20%増、③各種支援講座参加者数20%増。**アウトカム指標**：①就職情報の提供：量、水準、適時性、寄与度、②就職相談：助言の適切性、親和性、寄与度、③職業・就職先への満足度：入学目的・学習内容との関連、志望順位、期待度、④学士力との関連性：人生における職業の意味合い、汎用的専門的知識・技能の水準等。

### 4 取組の実施計画等

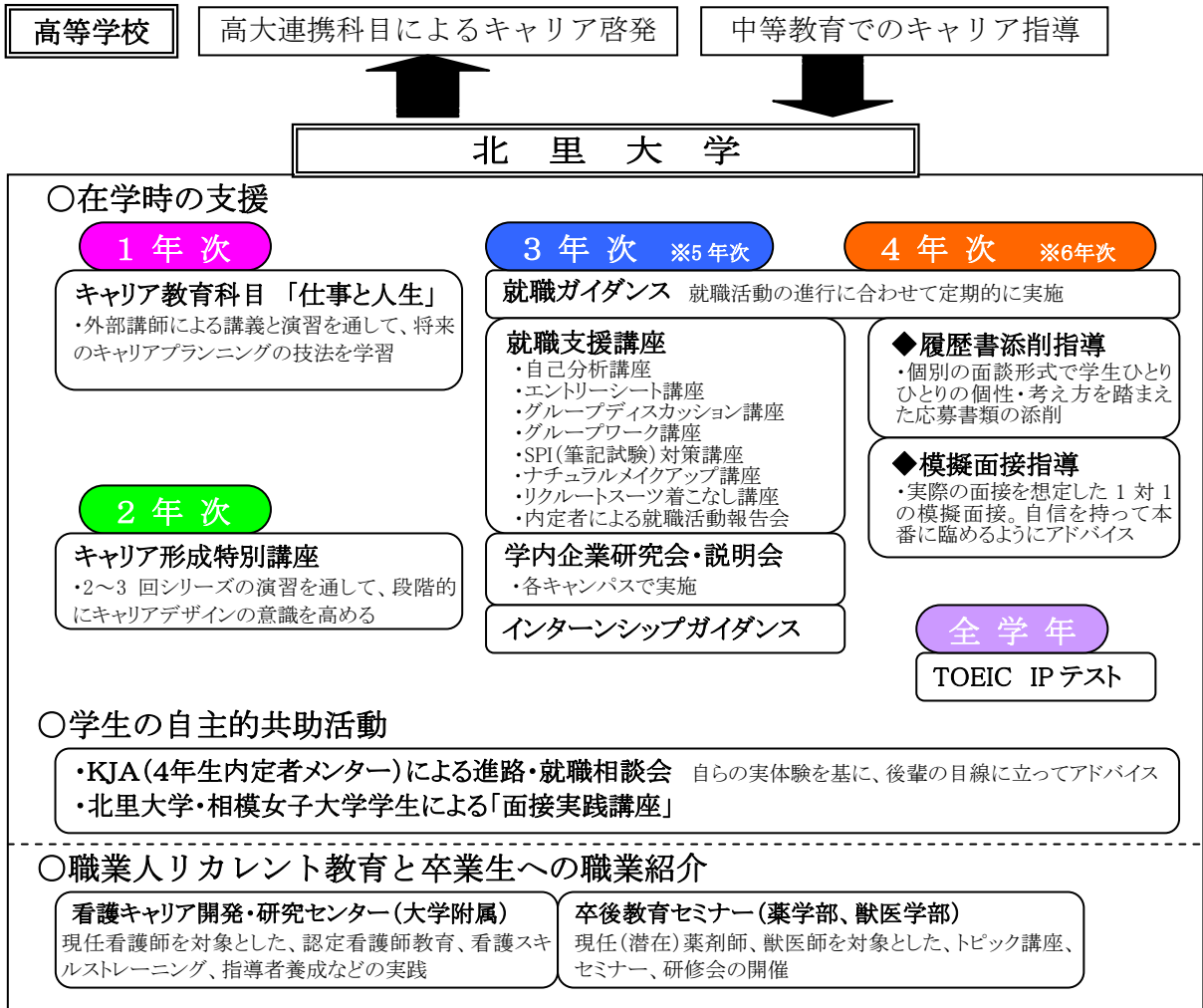
- ・実施計画（具体的な実施計画となっているか。）

本取組では、1年目の平成22年2～3月に、①就職相談員による個別相談や履歴書等添削指導に加えセミナー形式の就職講座を実施する。2年目の平成22年度は、②従来配置できていなかった前期（4月～9月）にも相談員を延2名/週配置し相談体制を充実、③セミナー形式就職講座の継続開催、④コンソーシアムや地域団体と連携した講演会の開催等、就職支援を強化する。

- ・財政支援期間終了後の展開（具体的な展開となっているか。）

就職相談員の通年配置は財政支援期間終了後も維持する。本学の就職支援活動は、高校生のキャリア啓発から、在学中における職業観・勤労観及び社会人・職業人としての基礎的専門的能力の育成、卒業後は広く他校出身者を含む職業人へのリカレント教育を実施、職業能力の向上に努めている（図1）。この支援は、全学の有機的な連携、地域機関との連携の下、引き続き強化していく。

# 北里大学の就職支援体制



◆は就職相談員が対応

## 就職センターの年間就職支援の概要

開催	対象学年	タイトル	内容	備考
4月	3～6年生	新年度ガイダンス	・就職概要説明等、年間スケジュール説明等	各学部で実施 就職センター支援
5月	全学生	TOEIC IPテスト	・各キャンパスで実施	就職センター
6月	2～6年生 (学部により対象学年は異なる) 3年生	就職ガイダンス 就職支援講座 インターンシップガイダンス	・就職の心構え、就職手帳の活用法、各種就職関連資料配布等、自己分析講座 就職活動マナー講座 他 ・インターンシップ 概要説明、先輩体験報告	各学部で実施 就職センター支援 就職センター
10月	主に3年生 主に3年生 全学生	就職ガイダンス 就職支援講座 TOEIC IPテスト	・実践編、就職システム説明、進路登録等の説明、講演 ・エントリーシート、履歴書の書き方、各種試験対策講座(SPI等)、自己分析講座 ・各キャンパスで実施	各学部で実施 就職センター支援 各学部で実施 就職センター
11月	主に3年生	就職支援講座	・自己分析講座、エントリーシート講座、グループディスカッション講座、グループワーク講座 ・各種試験対策講座、公務員試験対策、外部講師による講演等	就職センター 各学部で実施
12月	3年生 主に3年生	就職支援講座 各種ガイダンス 相模原企業研究会	・大学院入試説明、講演、各種就職試験対策講座等、エントリーシート講座、面接実践講座(相模女子大学共催)、ナチュラルメイクアップ講座、内定者による就職活動報告会 ・相模原キャンパスで全学部生対象	就職センター 各学部で実施 就職センター

※これとは別に、各学部において独自の各種支援講座、対策試験、企業研究会を実施する。  
 ※就職支援講座は、時期をずらし2回ずつ実施するなど、実習などで参加しづらい学生にも配慮している。

## 北里大学における就職支援活動の状況

### ○キャリアカウンセラーによる就職個別相談

就職相談の専門家であるキャリアカウンセラーによる就職相談、履歴書添削指導、模擬面接を実施。就職活動の実際とともに、不安を抱える学生に対し、的確なアドバイスを行うことを目的とする。充実した就職活動とするため、履歴書・エントリーシートの書き方指導に加え、精神的な面でのフォローにも取り組んでいる。



キャリアカウンセラーによる個別相談

### ○学内企業研究会の実施（相模原・白金・十和田・三陸・新潟キャンパス）



北里大学合同企業研究会（H21年度）

就職活動中の学部3年次生、修士1年次生を対象に、各キャンパスで学内企業研究会を実施。本格的な就職活動が始まる前に、企業の採用担当者から直接企業情報や採用説明を聞き、企業理解を深めることを目的とする。特に相模原キャンパスでは、一部上場企業など学生の志望度が高い延べ100社を超える企業を招くことで、就職活動に対する意欲向上にも繋げている。

### ○KJA（4年次生内定者メンター）による進路・就職相談会

4年次生内定者により組織されるKJA（北里大学ジュニアアドバイザー）と就職センターが連携し、就職活動中及び大学院への進学を検討中の学生に対し、進路・就職相談会を実施。メンターは、自らの経験を基に、活動中の下級生の目線に立った実際的なアドバイスをを行い、活動中の学生から好評を博している。



KJAによる進路・就職相談会

### ○北里大学学生・相模女子大学学生の協働による「面接実践講座」



面接実践講座（H21年度）

就職活動中の学部3年次生、修士1年次生を対象に、本学学生と近隣の相模女子大学学生が協働し、学生自身による模擬面接講座を実施。本講座は、異なる専攻分野の他大学学生と立場を入れ替えながら模擬面接を行い、異なる視点からの臨場体験を目的とする。個々の学生が「志望者、面接官、評価者」の三役を交互に体験することで、面接官の質問の意図や自己PR点の発見を体験している。